

市議会総務常任委員会は4月25日、総合事務所のあり方についての調査を行いました。

笹川自治・市民環境部長が、産業建設グループ業務集約の試行について、「的確な災害対応及び除雪業務の実施

地元出身割合低下に懸念表明

ができた」「集約グループ全体の組織力が最大限発揮され、業務の効率化が図られた」「スケールメリットをいかした広域的な地域振興策の展開ができた」などと報告しました。

また、4月からの本実施後についても、次長等会議、各集約グループ内の

定例検討等を通じて点検、改善をしていくとしたほか、地域事情に精通した職員の育成に努めるとのべました。

これを受けて、委員会では、ほぼ全員が発言しました。私は、職員の絶対数が減り、各区の出身または在住職員

の割合も20%台まで落ち込んだことなどをとりあげ、市民サービス後退の懸念を表明しました。

他の委員からは、「名立区ではどうやって広域的な地域振興を図るのか」などの質問が出ました。

区分	職員数			出身又は居住者	
	H25. 4. 1 現在 ア	H26. 4. 1 現在 イ	差引 イーア	人数 ウ	割合 ウ/イ
①浦川原区集約グループ	83	81	△2	19	23.5%
浦川原区総合事務所	41	42	1	9	21.4%
安塚区総合事務所	22	20	△2	5	25.0%
大島区総合事務所	20	19	△1	5	26.3%
②柿崎区集約グループ	104	102	△2	28	27.5%
柿崎区総合事務所	53	54	1	13	24.1%
大潟区総合事務所	28	26	△2	6	23.1%
吉川区総合事務所	23	22	△1	9	40.9%
③板倉区集約グループ	111	109	△2	32	29.4%
板倉区総合事務所	50	51	1	14	27.5%
牧区総合事務所	20	19	△1	5	26.3%
中郷区総合事務所	21	20	△1	9	45.0%
清里区総合事務所	20	19	△1	4	21.1%
④木田庁舎集約グループ	76	72	△4	18	25.0%
頸城区総合事務所	31	29	△2	8	27.6%
三和区総合事務所	25	24	△1	6	25.0%
名立区総合事務所	20	19	△1	4	21.1%
合計	374	364	△10	97	26.6%



「たんぽぽ」の歌に

励まされ、

新たな決意

私の活動を励ますつどいを4月25日、市民プラザで開いていただきました。

私は、4月23日に実施された県交渉の結果を踏まえ、原発をゼロにすることの重要性を訴えるとともに、日本とオーストラリアの経済連携協定をめぐって、「国内対策が明らかになるまでコメントできない」とする県の姿勢を批判する話をしました。

つどいでは、新婦人の有志の方が門倉詠の歌「たんぽぽ」を歌ってくださいました。私の大好きな歌に励まされました。感謝します。



【ニシキゴロモ】漢字で「錦衣」と書きます。シソ科の多年草。日当たりがよく、乾いた土のところにあり、白や青紫色の花を咲かせます。葉もきれい。



県交渉で発言・訴え

23日、県民大運動実行委員会の新潟県への要請行動に参加してきました。

要請事項は、「国が進めようとしている要支援者の介護保険外しなど介護保険

法の抜本改悪をやめるよう国に働きかけを」「TPP交渉からの撤退を県としても要請すべき」「原発事故に関する実効性のある避難計画の策定を」など31項目です。私は農業分野と原発問題で発言してきました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1655 2014.5.4
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

「こんばんはー」という女性の声がお店の入り口から聞こえたのは、会も後半に入ったころのことでした。でも声はすれども、顔は見えません。入り口付近のお客さんの目が店の入り口に集中しました。

数秒後、戸が少し開けられ、そこから顔を出したのは……。びっくりしましたね、腹話術のときに使われるキンちゃんだったので。続いて、キンちゃんを抱いているK子さんの顔も見えました。

驚きはそこで終わりませんでした。畳半分ほどの大きさのプラカードが続いたので。プラカードを持っていたのはKさんのパートナー、Hさんでした。大きな厚紙からあふれでるように黄色や水色の花、子どもたちの笑顔が貼り付けられています。ピンク色の大小ふたつのハート形の貼り紙もあります。そこにはメッセージが書かれています。人間の顔くらのハート型の紙には、「感謝 ありがとう」、もうひとつ、人間の顔が一〇人分くらい入る大きなハート型の紙には、「とくこさん お誕生日おめでとうございます ますますお元気で」と書かれていました。

店内のお客さんたちは一瞬、「おおっ」という表情をして静まり返り、再びキンちゃんとプラカードに集中しました。二台のカメラが動き、何枚もの写真をとりました。「お誕生日 おめでとうございます」と言いながらキンちゃんはカウンター内に入り、お店の店主、トクコさんに声をかけます。オレンジの生地白い水玉が描かれたエプロンを着たトクコさんも大喜び、笑顔と拍手でキンちゃんを迎えました。

この日は上越市高田の町にある居酒屋「柘」（ひいらぎ）の、お客さんと呼んでの「さよならの会」でした。四月いっぱいまで店を閉じることになったことを聞いた馴染みのお客が次々と訪れました。K子さんもHさんも馴染み客だったので。

私がお店に初めて入ったのは数年前です。高田在住の友人に誘われ、そこで二時間ほど飲み、食べさせてもらいました。そこで食べた魚とご飯がとても美味しく、それだけでこの店が好きになりました。以来、年に二、三回は訪れています。

この日、私が店内に入ったのは午後六時ちょっと前です。すでにカウンター前の席に数人、畳が敷かれた小さな部屋には五、六人のお客さんがいました。私はカウンター前に仲間入りさせてもらいました。

カウンターには大きな皿がいくつも並んでいました。私の好きなウドやシシヤモもあります。シシヤモは味付けが抜群でした。私も早速ビールを注文、飲み始めました。お客さんが増えてからは、通路にいくつもの椅子が追加されました。

お客さんの顔ぶれを見たら、何人も知っている人がいました。会社の元社長さん、造り酒屋の親方さん、学校の先生などです。店では一度も会っていません。気にかかわらず、話をしているうちに、以前からここで一緒に飲んだことがあるような気がしてくるから不思議です。三和区のHさんとは旧吉川高等学校醸造科の同級生のみなさんのことや醸造科廃止反対運動のときの思い出話などを語り合いました。もちろん、カウンターの中にいたトクコさんたちとも話しましたよ。

「さよならの会」では何人ものお客さんが花や感謝の言葉をトクコさんにプレゼント、「柘」の閉店を惜しみました。「柘」の花言葉のひとつは「歓迎」、控えて清らかな花が香りで相手を「おもてなし」するところからきているとか。「柘」のトクコさんのことですから、中郷区でも新たなことに挑戦されるはず、楽しみですよ。

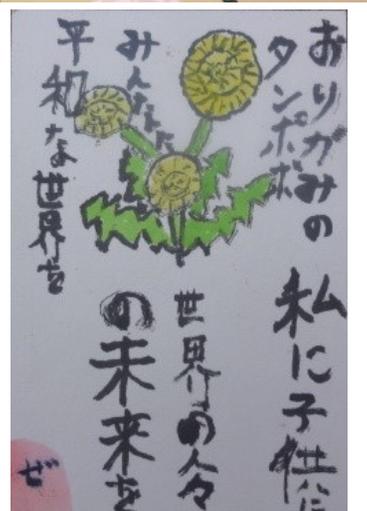
特別支援学校や地域おこし協力隊などの動きを報告

生まれ育ったところが同じ。それだけで親近感がわき、話はずむ。先月26日、吉川区川谷地区出身者でまとまった「川谷ふるさと会」のメンバーが同区坪野にあるスカイトピア遊びランドに集まり、親睦を深

めました。総勢17人。例年よりも少なめでしたが、大いに酒を飲み、語り合いました。

会では屋号で呼び合い、いまはもう無くなった橋本屋商店でラムネを買ったことなど楽しい思い出話に花を咲かせました。また、すでに無くなった家も含めて屋号の入った住宅地図を作ろうという話で盛り上がりました。途中、同じ建物内で懇親会をやっていた川谷地区出身の中村さんと小池さんが飛び入りし、参加者は大喜びしました。

私は会員ではないのですが、地元出身の市議だということで、この1年間のふるさとの動きを報告するよう求められ、県立吉川高等特別支援学校が初の卒業式を行ったこと、地域おこし協力隊が導入されたことなどを話しました。参加は3回目です。楽しいひと時を過ごさせてもらいました。



清里区のSさんから絵手紙をいただきました。ありがとうございます。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	4月23日(水)	4月30日(水)
上越南消防署	0.036	0.040
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.050	0.053
頸北消防署	0.050	0.046
頸南消防署	0.047	0.040
東頸消防署	0.050	0.056
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.046	0.053